

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。

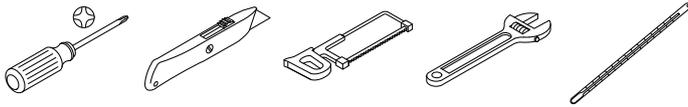


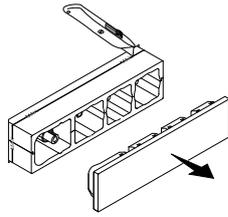
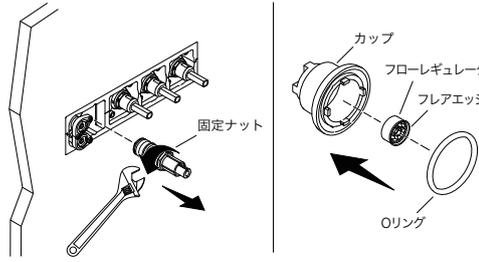
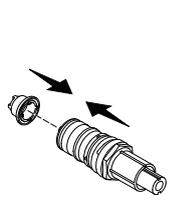
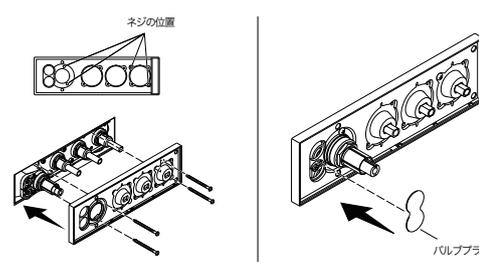
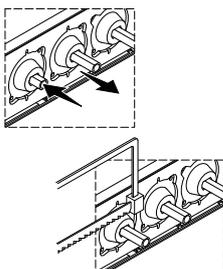
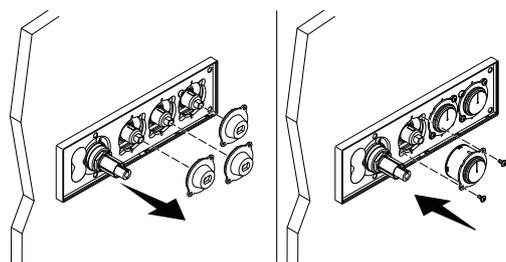
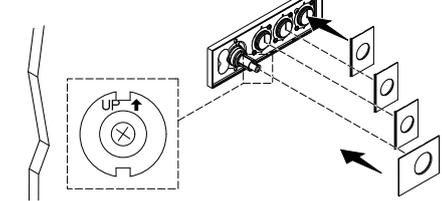
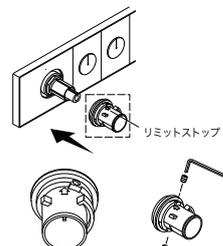
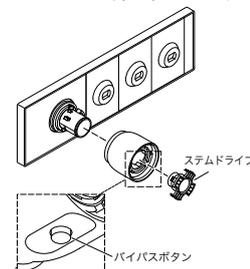
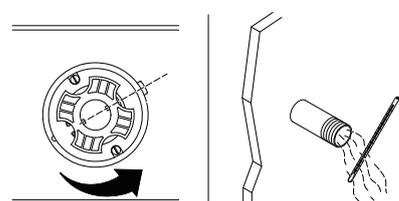
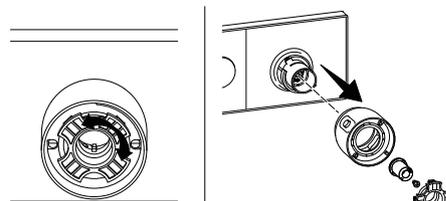
……このマークは、「分解禁止」の内容です。

⚠ 取付に関する注意			
	本製品の取り付けは、必ず有資格の専門業者に依頼してください。誤った施工は、落下や漏水の原因になります。		コントロールパネルは付属の取付ブラケットとケーブルを使用し、壁面へ確実に固定してください。
	バルブ・コントロールを接続するケーブルは、施工説明書に従って配線し、電源プラグを必ず抜いた状態で作業してください。		お湯の温度設定によってはやけどのおそれがあります。サーモスタットバルブには高温制限機構が備わっていますが、施工時に上限温度を適切に調整してください。
	パネルは壁面仕上げ後に取り付けます。目地・段差にまたがる位置は避け、フラットな面に水平を確認して設置してください。		本製品は浴室など屋内のシャワーシステム用です。屋外や、浴室以外の特殊環境(プール設備、工業用途など)では使用しないでください。

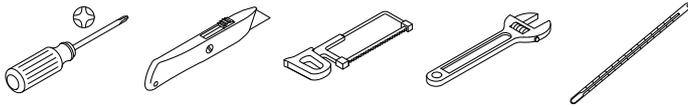
⚠ 使用に関する注意			
	本製品はAnthem デジタルサーモスタットバルブ専用のデジタルコントロールパネルです。必ず指定のバルブと組み合わせてご使用ください。単体では動作しません。		洗面ボウル内に、シンナー・塗料・強酸/強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。
	音声アシスタント(Alexa/Google Home 等)と連携する場合も、誤動作による予期しない吐水・温度変更に注意してください。		本製品は KOHLER Konnect® アプリと連携し、追加機能やアップデートを利用できますが、シャワー中のスマートフォンの操作は転倒などの危険があるため避けてください。
	パネルに指以外の硬い物(工具・金属ペン先など)を押し当てないでください。表示面の傷・破損の原因となります。		高温のお湯を使用する場合は、別途接続される混合水栓・サーモスタットの取扱説明書に従い、やけどをしない温度に設定してください。特に高齢者やお子様を使用する際は、必ず保護者が確認してください。
	本体やケーブルの改造、分解、非純正部品の使用は絶対に行わないでください。故障や火災の原因となり、保証対象外となります。		ダイヤルが割れている・ぐらつく・異常に熱い・表示がおかしい場合は、直ちに使用を中止し、電源・給水を止めて販売店またはサービス窓口にご相談ください。

必要工具および現場手配品



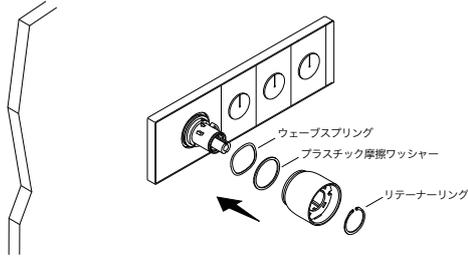
<p>⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。 不注意に取り扱っていると、製品が破損したり、欠けたり、怪我をする可能性があります。</p> <p>地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。</p>	<p>1 フォームガードの厚み調整 保護カバーを取り外します。フォームガードを仕上げ壁と同じ厚みになるように切り取ります。</p> 	<p>2 流量調整器の組立て 2と3は、シャワー1台あたりの最大流量制限が1.8 gpm (6.8 lpm) の地域にのみ必要です。バルブが設置されている地域にこの制限がない場合は、手順4に進んでください。</p> 	<p>バルブへの給水をオフにします。蛇口を開いてバルブ内の圧力を解放します。サーモスタットカートリッジの固定ナットを緩めてください。</p> <p>カートリッジをバルブからまっすぐに引き抜きます。カップ、フローレギュレータ、Oリングが含まれるスペアキットを見つけます。フローレギュレータの広がった端を外側に向けてカップに押し込みます。Oリングをカップの溝に取り付けます。</p>
<p>3 流量調整器の取付 カップをサーモスタット カートリッジの背面に取り付けます。4つのカートリッジをタブが切り欠き部分に差し込むようにしてバルブ本体に押し込みます。ナットを締めてカートリッジを固定します。</p>  <p>※再取り付け時に、サーモスタット カートリッジのタブがバルブ本体の切り欠きと揃っていることを確認してください。</p>	<p>4 取付フレームの取付 付属の4本のネジを使用して、取り付けフレームをバルブに取り付けます。バルブプラグをカートリッジの開口部に押し込みます。</p> 	<p>5 ステムの調整 それぞれのバルブのステムが伸びた位置になるように押し込みます。各バルブのステムをトリムガイドと同じ高さにトリミングします。</p> 	
<p>6 ボタンの取付 トリムガイドを取り外し、ネジを保管します。先ほど留めておいたネジを使用してボタンを取り付けます。取り付け時にボタンの線が上向きになっていることを確認します。</p> 	<p>7 トリムタイルの取付 適切なトリムタイルを、バルブの右側にある出口ボタンの上に配置し所定の位置にはめ込みます。残りのトリムタイルに対応するコンセントボタンに取り付けます。ステム延長部の「UP」の文字が上向きになっていることを確認します。サーモスタットカートリッジの上に、コントロールノブ用の大きなトリムタイルを取り付けます。すべてのトリムタイルが所定の位置にカチッと合っていることを確認します。</p> 	<p>8 リミットストップの取付 タブが10時と2時の位置にくるようにリミットストップを配置します。付属2-1/2 mm 六角レンチを使用してリミットストップ止めネジを固定します。</p> 	
<p>9 コントロールノブの取付 バイパスボタンを下に向けた状態で、コントロールノブをリミットストップ上に配置します。ステムドライブをコントロールノブに押し付けます。</p> 	<p>10 水温の確認 コントロールノブを反時計回りに回して、ノブが止まり、バイパスボタンが2時の位置にくるまで回します。いずれかのボタンを押して水をオンにします。水温を安定させるために、数分間水を流し続けてください。温度計を水流の中に入れ、温度を確認します。水温が49°Cまたはそのすぐ下で安定したら、手順12に進みます。</p>  <p>⚠ 怪我の危険があります。水温を高く設定しすぎると、やけどをする恐れがあります。水温は49°C (120°F) 以上に設定しないでください。</p>	<p>11 水温の設定 ※次の手順は、高温制限停止位置の水温が低すぎるか、49°Cを超える場合にのみ必要です。 ステムドライブをコントロールノブから分離します。ステムドライブを使用してステム延長部を回転させ、水温が49°Cまたはそのすぐ下で安定するまで水温を上げたり下げたりします。希望する水温に達したら、ステムドライブ、ネジ、ステム延長部を取り外します。水を止めてください。バルブからコントロールノブを取り外します。</p> 	

必要工具および現場手配品



12 コントロールノブコンポーネントの取付

ウェーブスプリングとプラスチック摩擦ワッシャーを取り付けます。バイパスボタンを下に向けてコントロールノブを再度取り付けます。リテーナーリングを取り付けます。

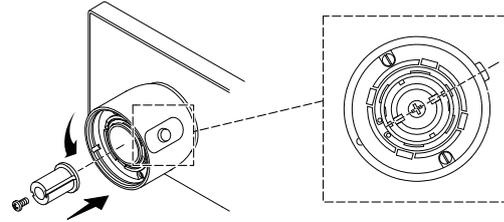


13 ステムエクステンションの再取付

※最高温度を調整する必要がなかった場合は、次の手順に進みます。

バイパスボタンを押し込み、コントロールノブを反時計回りに回して、ノブがハイに噛み合うまで回します。

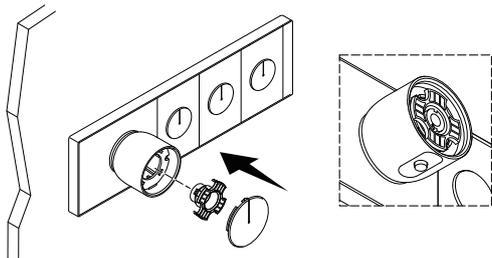
溝をバイパス ボタンに合わせてステム エクステンションを再度取り付けます。ステム延長部をネジで固定します。



14 取付の完了

バイパスボタンが下を向くまでコントロールノブを回します。必要に応じて手順 10 ~ 14 を繰り返す、最高水温を上げたり下げたりします。

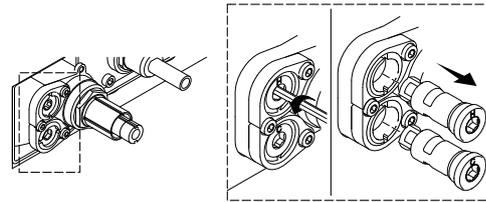
コントロールノブにキャップを取り付けた後、温度調節ノブ、バイパスボタン、高温制限停止設定の動作を確認します。



フィルターストップを閉じる/取外

・フィルターストップを閉じる：六角レンチまたは六角ビットを使用して、フィルターアセンブリを反時計回りに回し、フィルターストップ本体がしっかりと締まるまで回します。これでフィルターストップが閉じます。

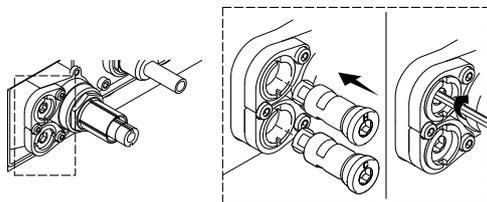
・フィルターの取り外し：フィルターがフィルターストップ本体から外れるまで、フィルターアセンブリを反時計回りに回し続けます。フィルターが取り外せるまで、フィルターを反時計回りに回します。



フィルターストップを取付/開く

・フィルターの取り付け：フィルターをフィルターストップ本体に挿入します。フィルターがフィルターストップ本体に完全にねじ込まれるまで、時計回りに回します。

・フィルターストップを開く：フィルターとフィルターストップ本体を時計回りに回し、フィルターストップ本体がそれ以上回転しなくなるまで回します。これでフィルターストップ本体が開きます。



スクリーンのクリーニング

- ・バルブへの給水をオフにします。
- ・コントロールノブのコンポーネントを取り外します。
- ・トリムプレートとバルブプラグを取り外します。
- ・カートリッジをバルブから外します。
再取り付けの際は、高温と低温の位置をメモしておいてください。
- ・フィルタースクリーンに付着したゴミを洗い流します。
- ・チェックバルブとOリングを点検し、必要に応じて交換してください。
- ・カートリッジを適切なポートに再度取り付けます。
- ・バルブプラグとトリムプレートを再度取り付けます。
- ・コントロール ノブ コンポーネントを再インストールします。
- ・バルブへの給水をオンにします。

